

日立全透明式V-EN形エスカレーター

最近のエスカレーターは、高機能、省エネルギー及び省スペースに加えて、多様化する建築内装に調和するファッション性が強く求められている。特に、エスカレーターが重要視される最近のショッピングセンターでは、明るく、解放的なイメージの店作りが流行しており、これに調和する軽快な欄干デザインが必要になっている。

新機種日立全透明式V-EN形エスカレーター(図1)は、省エネルギー特性とステンレス鋼製ステップの技術で好評を得ているVシリーズエスカレーターの意匠系列を強化した新機種である。欄干デザインは、透明な面積を極限まで広げる一方、ガラスの周縁をハンドレールが直接移動するイメージをもつ新感覚のエスカレーターである(特許・意匠登録出願中)。

1. 主な特長

(1) 従来用いられていたハンドレール案内用のフレームを全廃(図2)し、ガラスパネルだけで欄干を構成した世界

初の全透明式エスカレーターである。
(2) ハンドレールの入り込み口部安全装置を改良し、人体(子供・老人)がはさまれるのを防止する機能を更に強化した。
(3) ハンドレールの反転部に用いていた小径の案内ローラを耐摩耗性の高い滑り材に変更し、保全性を向上させた。
(4) 欄干の内・外側デッキカバー、ス



図1 日立全透明式V-EN形エスカレーターの外観

テップ及び乗降口には、ステンレス鋼を採用し、従来どおりの高級性と耐久性を確保した。

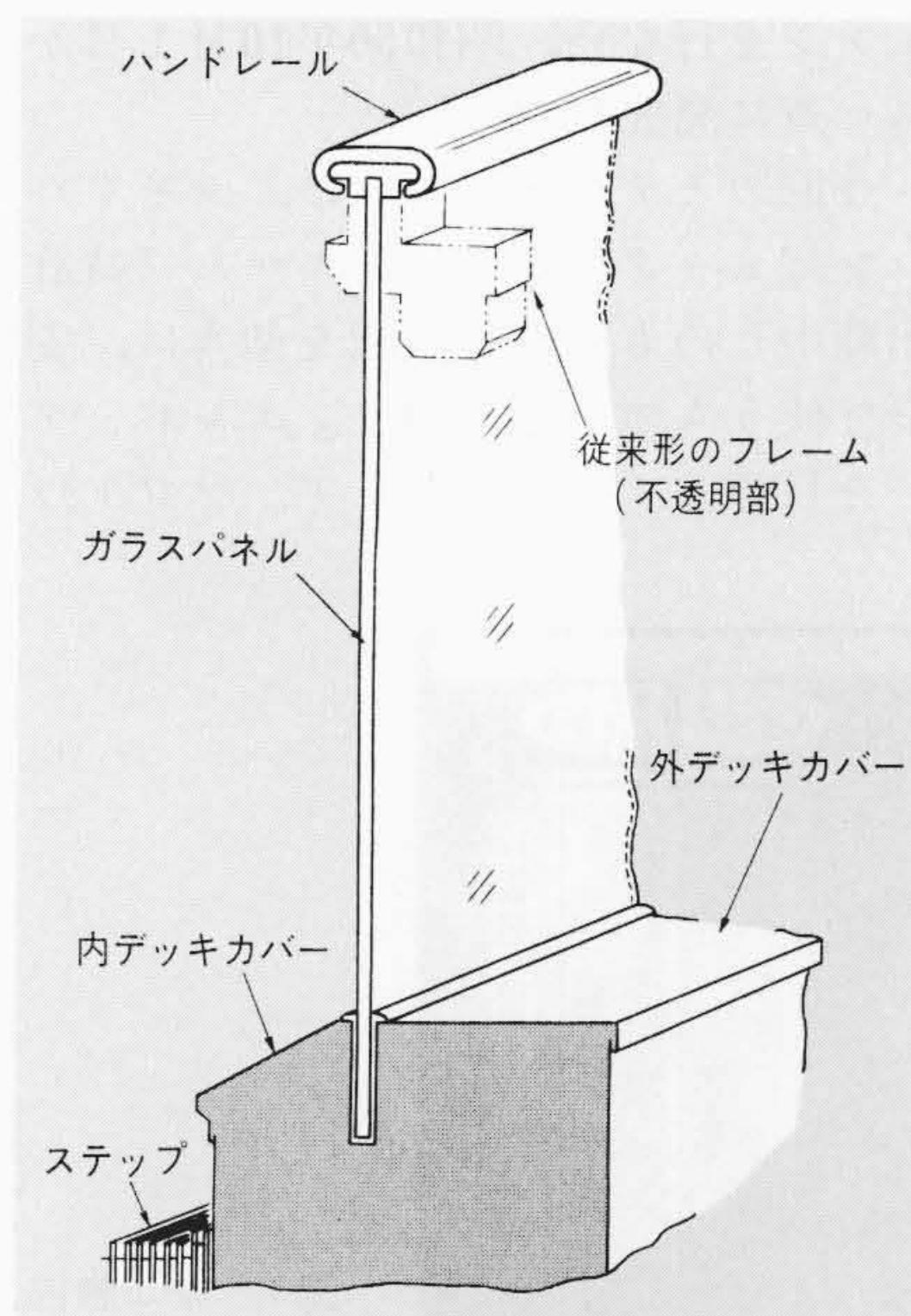


図2 欄干の断面
(日立製作所 機電事業本部)

エレベーター, エスカレーター用ICオートアナウンス

エレベーターやエスカレーターのサービス及び安全性の向上を図るために、音声合成LSIを利用した自動放送装置を開発した。

本装置は図1に示すように、音声合成LSI、音声データ格納半導体メモリ、音声合成LSI制御用マイクロコンピュータ、放送タイミングなど外部信号とのインタフェースで構成しており、従来のテープ式自動放送装置と比べると次のような特長がある。

1. 主な特長

- (1) 長寿命・メンテナンスフリー
- (2) 放送文の選択が迅速
- (3) 小形・軽量
- (4) 放送文が豊富(表1参照)

2. 主な用途

- (1) 公共性の高い施設のエレベーターの自動案内放送
- (2) エスカレーターの安全注意放送

表1 ICオートアナウンスの放送内容

項番	放送文(女声)	分類
1, 2	上(下)へ参ります。	方向案内
3, 4	地下1(2)階でございます。	階床案内
5~13	1(~9)階でございます。	階床案内
14	満員です。あとからお乗りの方は、お降りください。	乗過ぎ案内
15	ドアが開いたら、エレベーターから降りてください。	異常時案内
16	インタホンの呼びボタンを押してください。	異常時案内
17	しばらくお待ちください。	異常時案内
18	ドアが閉まります。	戸閉め案内
エスカレーター用	いらっしやいませ。毎度御来店くださいます。エスカレーターを御利用の際は、手すりにおつかまりになり、黄色の線の内側にお乗りください。	注意案内

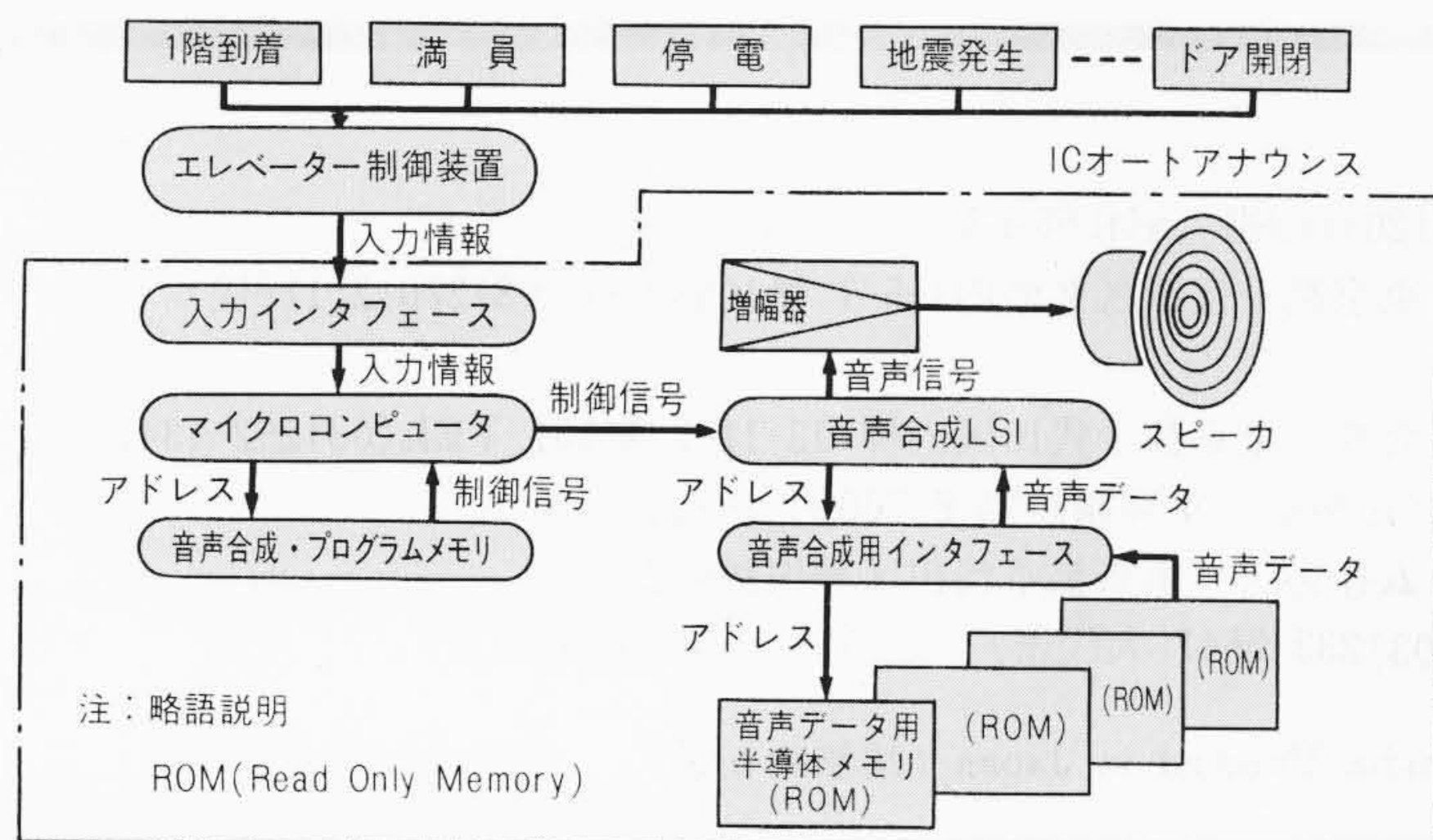


図1 エレベーター用ICオートアナウンス

(3) エレベーター、エスカレーター以外のシステムと組み合わせ、必要な放送を流すことができる(オプション)。
(日立製作所 機電事業本部)

製品紹介

規格形エレベーター「日立ビルエース」 のモデルチェンジ

「日立ビルエース」は、発売以来20周年を機に、乗用P形、住宅用R形、寝台用B形の全機種にわたるモデルチェンジを行ない、昭和56年10月1日から一斉に発売した。

今回のモデルチェンジは、マイクロコンピュータ二重システム（特許出願中）のもつ高い機能を基本に、安全で使う人の「心の通う」エレベーターを目指し、ハードウェア、ソフトウ

ェア両面にわたり、きめ細かな工夫を凝らした。

1. 主な特長

(1) かが室の意匠（アストロシリーズII）

かが室の意匠は高級化粧鋼板を採用し、落とし目地構造の採用などにより、耐久性のある質感に優れた新デザインとし、3種類のデラックス天井意匠と

組み合わせ、仕様に変化をもたせている（図1）。

(2) かが内操作盤とインジケータの意匠
かが内操作盤とインジケータは、フェースプレートにシックなカラーアルミを、表示灯にシャープな発光ダイオードを、ボタンにストロークの小さい「センシティブタッチボタン」を採用し、操作性がソフトで新鮮なデザインとしている（図2）。

(3) 耐震設計と低騒音化

大形加振設備による実証データをもとに、各機器の耐震設計を行ない、地震時の安全性を高めている。また、低騒音電動機、高吸振形マシンベースの開発により建物への騒音伝搬を防止している。

(4) 付加仕様の充実

高度なエレクトロニクス技術を駆使した超音波ドアセンサ、Vセンサ付地震時管制運転、音声合成案内装置などの新しい付加仕様の充実を図っている。
（日立製作所 機電事業本部）

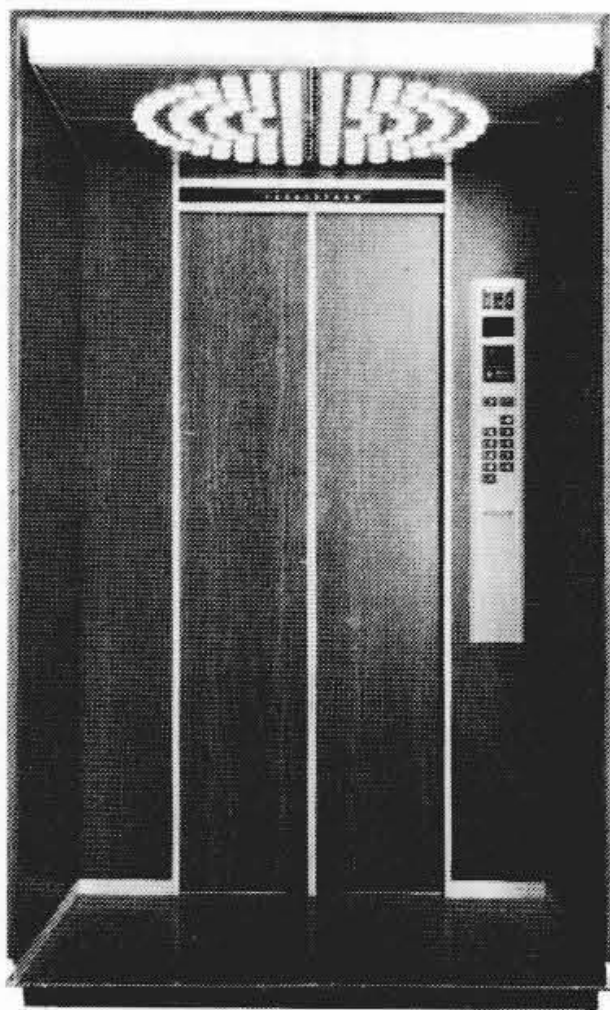


図1 かが意匠
（アストロシリーズ）デラックス
スター

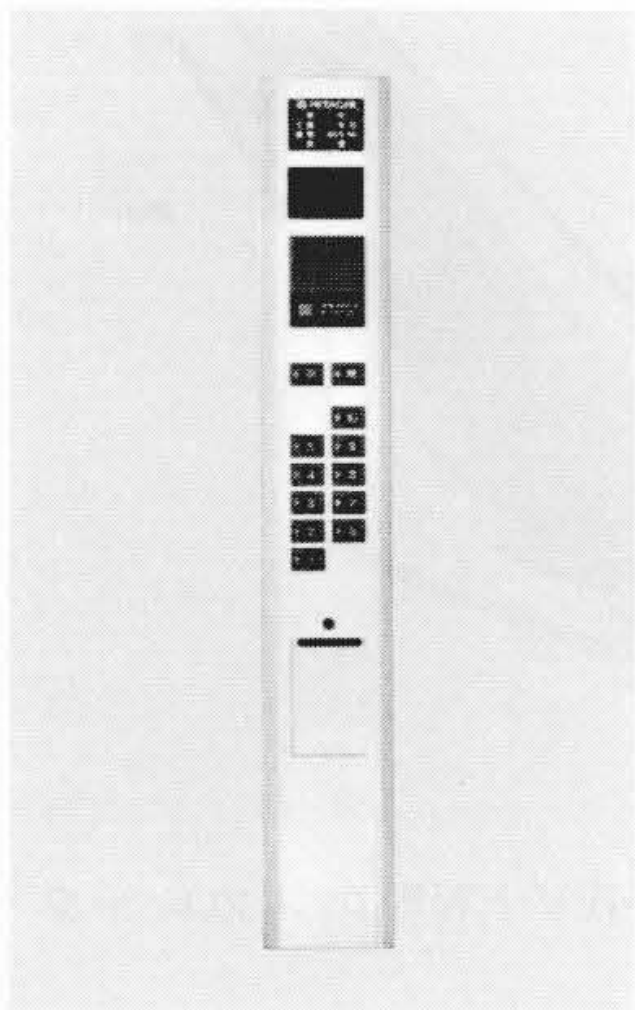


図2 かが室操
作盤

日立評論 Vol. 63 No.11

日立 Vol. 43 No.11

■特集 最近の交通技術

鉄道技術の動向
浮上式鉄道実験線浮上体
浮上式鉄道実験線U形車両制御システム
浮上式鉄道実験線非接触集電方式
200系新幹線電車の車両構造
200系新幹線電車の主要電気品
東北・上越新幹線運転管理システム(コムトラック)
東北・上越新幹線電力系統監視制御システム
東北・上越新幹線相隣連動制御システム
GTOインバータによる車両用誘導電動機の制御
自律分散制御の交通システムへの応用
福岡地下鉄トータルシステム車両制御・検修システム
福岡地下鉄トータルシステム制御・情報管理システム
都市モノレール小倉線モノレールカー
大阪市交通局向け新交通南港ポートタウン線の管理システム
大阪南港中量軌道輸送システム(電力設備)

グ ラ フ ロボット開発の先端を見る
ル ポ
明日を開く技術<22> 超音波センシング技術
家庭コナー 電気暖房器具
技術史の旅<65> 服部長七と人造石
続・美術館めぐり<23> 芹沢銈介美術館
新製品紹介

編集委員

委員長 渡辺 宏
委員 三浦武雄
" 北村 敏
" 松岡 敏
" 伊沢省二
" 加藤正敏
" 武田康嗣
幹事 倉木正晴

企画委員

委員長 三浦武雄
委員 加藤正敏
" 武田康嗣
" 山本喜久夫
" 山本正彦
" 山本景彦
" 山本豊彦
" 山本進志
" 山本有信
" 山本彦滋
" 山本啓一
" 山本彦雄
" 山本篤之
" 山本惟之
" 山本惟之
" 山本惟之
幹事 山本知

日立評論 第63巻第10号

発行日 昭和56年10月20日印刷 昭和56年10月25日発行
発行所 日立評論社 東京都千代田区丸の内1-5-1 ☎100 TEL(03)270-2111(代)
編集兼発行人 倉木正晴
印刷所 日立印刷株式会社 東京都千代田区内神田3-11-7 ☎101 TEL(03)252-1341(代)
定価 1部500円(送料別) 年間購読料 6,700円(送料含む)
取次店 株式会社オーム社書店 東京都千代田区神田錦町3-1
☎101 TEL(03)233-0641(大代表) 振替口座 東京6-20018

© 1981 by Hitachi Hyoronsha Printed in Japan (禁無断転載)